

2022年9月

会 員 各 位

一般社団法人日本バルブ工業会
(公印省略)

みんなで学ぼう“バルブ塾” 開催のご案内

[2022年10月31日(月) 生産管理の基礎]

拝啓 時下ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

本研修会はこれまで会員企業に実施した人財育成に関するアンケートで、特に関心の高かった分野についてそれぞれ専門家を講師にお招きして講義を実施しており、受講者から大変好評を得ております。

今回は、前回の受講者から大変好評を得た、生産管理の基礎に関する講義を、前回受講されなかった会員企業にもぜひ受講いただきたく、同じカリキュラムで実施いたします(既に受講された会員企業も、もちろん受講可能です)。自社の収益改善にも繋がり、モノづくりにおいて重要な本講義は、皆様にとって有意義な内容になるかと思っておりますので、多数のお申込みをお待ちしております。

敬具

[受講申込方法]

所定の Web フォームに必要事項をご入力の上、お申込みください。

※申込完了後、受付完了メールが自動送信されるのは【申込担当者】のメールアドレスのみになります。【受講者】には受付完了メールは送信されませんのでご容赦ください。

※1社につき3名様を超えてお申込みいただけますが、その場合は、まず3名様分をお申込みいただいた後、3名様以降の方を、もう一度 Web フォームへ入力の上お申込みください。

※定員を超えた場合は、複数名でお申込みをいただいている会員に人数調整をお願いすることがありますので、予めご承知をお願いします。

※後日、受講者にはテキストを郵送でお送りし、Zoom ミーティングの使い方・Zoom 入室 URL はメールでお送りいたします。

[受講料振込方法]

原則として請求書・領収書は発行いたしておりませんのでご了承ください。受付完了メールをご参照いただき、申込された人数の合計金額を、下記概要に記載の口座へお振込みくださいますようお願いいたします。

※個人でお振込みされる場合は、会社名も分かるようにお振込みください。

※申込締切=2022年10月5日(水)、受講料振込期限=2022年10月11日(火)

[申込・問合せ先]

一般社団法人日本バルブ工業会 事務局 (担当:土屋)

E-mail: info@j-valve.or.jp TEL: 03-3434-1811 MOBILE: 080-3401-8918 FAX: 03-3436-4335

〒105-0011 東京都港区芝公園 3-5-8 機械振興会館 510号室

以上

みんなで学ぼう“バルブ塾” 生産管理の基礎 開催概要

標記研修会を下記要領にて開催いたします。

(記)

1. 開催期日： 2022年10月31日(月)

2. 開催方法： Zoom ミーティング (ライブ配信)

※お申込前に Zoom の推奨環境などを同社ホームページでご確認ください → <https://zoom.us/test>

※受講者による受講中の録音・録画はお断りいたします。また、お申し込まない方が受講者と同時に視聴されることをご遠慮ください。なお、本講義は主催者による録音・録画はいたしません。

※Zoom ミーティングは、Zoom ウェビナーと使用方法が異なり、受講者自身のビデオ・音声の ON・OFF を、受講者自身が受講中に変更することができます。

※インターネット経由でのライブ中継となりますので、画像や音声がかかる場合があります。また、回線状況によっては講義を中断し、再接続して再開する場合がありますので、予めご承知お祈りいたします。

※その他、受講いただくにあたっての注意事項や願いが生じた場合は、都度メールでお知らせいたします。

【Zoom ミーティングで実施するにあたってのお願い、注意事項について】

本講義は、データの画面共有はせず、講師が板書するホワイトボードの画面を映しながら、事前に郵送するテキストに受講者が記入しながら講義を進めます。講師より、受講者の理解度を画面を通して確認しながら進行されたい希望があったため、Zoom ミーティングで開催いたします。ついては、受講時に下記のご対応をお願いいたします。

①可能な限り「ビデオを ON」にしてください。

(「ビデオを ON」にすると、講師及び他の受講者にご自身のカメラ映像が表示されます)

②発言する時以外は「音声を OFF (=ミュート)」にしてください。

③ハウリングしないようにするため、同じ部屋で複数名が受講する場合は、音声の入出力は1台のデバイスからにしてください(他のデバイスは「音声をミュート」「スピーカーを OFF」の設定)。

(その他、ハウリングの対策例 = 複数の受講者が同じ部屋で受講しないようにする / マイク付きのイヤホンやヘッドセットを接続して受講する / 複数の受講者が同じ部屋で受講する場合、1台のデバイスでプロジェクターに投影して受講する ※お申し込まない方が受講者と同時に視聴されることはご遠慮ください)

※上記②③は、受講者の環境音が講師及び受講者全員に聞こえてしまうため、講義進行の妨げにならないようにするためのお願いになります。

※事前に Zoom ミーティングの使い方をお送りしますのでご確認ください。

3. 準備物： 筆記用具、電卓 (スマホの電卓機能でも可) ※受講者でご準備ください。郵送するテキストへの記入、計算をする際に必要になります。

4. カリキュラム： 別紙をご参照ください。

5. テキスト： 事前に郵送いたします。

6. 定員： 90名 ※早めのお申込みをお願いします。定員を超えた場合は、複数名でお申込みをいただいている会員に人数調整をお願いすることがありますので、予めご承知お祈りいたします。

7. 受講料： 10,000円/名

8. 申込締切： 2022年10月5日(水) ※所定の Web フォームよりお申込みください。

9. 振込期限： 2022年10月11日(火) ※下記口座へ受講料をお振込みくださいますようお願いいたします。

受講料振込先： みずほ銀行 虎ノ門支店 (普) 1228674

口座名義 シャ) ニホンバルブコウギョウカイ

一般社団法人 日本バルブ工業会 (TEL:03-3434-1811)

※原則として請求書・領収書は発行いたしておりませんのでご了承ください。

※個人でお振込みされる場合は、会社名も分かるようにお振込みください。

備考： カリキュラムは変更になる場合があります。予めご承知お祈りいたします。

Zoom ミーティング開催 2022 年度バルブ塾（生産管理の基礎） カリキュラム

開催日	時間	内 容	講 師（予定・敬称略）
10/31 (月)	10:00 ~ 16:30 [講義 300 分 +昼休み 60 分 +休憩 30 分(10 分×3 回)] [質疑応答の時 間は 16:30 以降 に 10 分~15 分 設ける予定です]	<p>生産管理の基礎： “1 日でわかる”生産管理の基礎の基礎</p> <p>“すんなり”とモノづくりを行っていくために重要な、生産管理・工程管理・在庫管理の基本を学び、生産管理“技術”の体得を目指す。</p> <p>※お薦めする主な対象部門・役職は下記になります。</p> <p>・対象部門：<u>モノづくりに携わる、生産管理、購買・外注管理、製造、営業部門の方々で実務経験 3 年以上の方</u></p> <p>・対象役職：<u>工場長、部長、課長、係長、主任の方</u></p> <p style="text-align: center;">(目次案)</p> <p>■セクション① 生産管理と工程管理の違い</p> <p>課題 1：モノづくりは“生産形態”で決まる！！</p> <p>【実習 1】あなたの会社の生産形態は何か？</p> <p>課題 2：生産管理とは？</p> <p>【実習 2】そもそも生産管理業務とは、どのような仕事と思うか？</p> <p>課題 3：工程管理とは</p> <p>■セクション② 儲けを左右する生産計画</p> <p>課題 4：生産計画の種類を知る</p> <p>課題 5：それぞれの生産計画の役割を腹に落とす</p> <p>【実習 3】貴社の現状はどのようになっているか？</p> <p>課題 6：需要予測、受注予測の進め方</p> <p>【実習 4】貴社の需要予測、受注予測の現状はどうなっているか？</p> <p>【実習 5】あるべき姿に近づけるためには、どのように改善したら良いと思うか？</p> <p>課題 7：生産計画の立て方</p> <p>【実習 6】負荷計画で人員、設備を準備せよ！</p> <p>【実習 7】中量生産に向く「日程計画法」の正しい使い方を体得せよ！</p> <p>【実習 8】少量生産に向く「差し立て法」の正しい使い方を習得する！</p> <p>課題 8：適正なクッションを持つことが肝</p> <p>■セクション③ 納期遅延をなくす方法</p> <p>課題 9：生産統制とは？</p> <p>課題 10：「現品管理」を侮るな！</p> <p>課題 11：進捗状況が見える化する手法（進捗管理）</p> <p>【実習 9】それぞれの進捗管理のやり方について実習します</p> <p>・問 1. 日程計画法の場合</p> <p>・問 2. 差し立て法の場合</p> <p>課題 12：残業・休出を減らす方法（余力管理）</p> <p>【実習 10】講師から教わったことを具体的に実行に移すには、どのように進めていくと良いか検討してください</p> <p>■セクション④ 在庫管理の基礎技術</p> <p>課題 13：在庫の種類を正しく知る</p> <p>【実習 11】在庫には、いろいろな呼び名がある。考えられる在庫名を列記してください</p>	講師：西田 雄平 [(株) 西田経営技術士事務所]

※カリキュラムは変更になる場合があります。予めご承知おき願います。

“中小製造業のための”収益改善セミナー

1日でわかる 生産管理の 基礎の基礎



このような企業様へ

- ① 仕事が減っているのに納期トラブルが発生している企業様
- ② 急な生産指示や材料手配で、いつもバタバタしている企業様
- ③ 材料や外注品の納期遅れが多発している企業様
- ④ 何が、何個、どこに仕掛かっているのか、一々現場を見に行かないと分からない企業様
- ⑤ 在庫が多く、進捗状況が把握しづらい企業様
- ⑥ 在庫差異(理論在庫と現物在庫との差異)が多く、現場を混乱させている企業様
- ⑦ 体系的に教えられる人材が社内におらず、学びの機会が得られなかった企業様

このセミナーの特徴

- ① 生産管理、工程管理、在庫管理の基本を学ぶことができます。
- ② 10個以上の実習を通じて、受講者が即日実践できるようにカリキュラムしてあります。

受講企業様の声

- 「今後はこういう風に変えていきたい!」とか「うちの会社はこうだったらいいのに!」と気づくことが多く、主体的に考えることができました。専門用語が少なく、具体例をあげて説明してくれて分かりやすかったです。(栃木県 生産管理担当 E氏)
 - セミナーに参加するまで生産管理の定義が曖昧だったのですが、体系化された資料がとても参考になりました。学んだことを参考に、もっと工場の改善に取り組んでいきたいと思いました。(埼玉県 製造係長 Y氏)
 - これまで仕事の忙しさを売上高や数量で考えていましたが、時間で把握することの大切さが良く分かりました。ムリのない生産計画を立てるポイントが理解できました。(群馬県 外注管理担当 E氏)
- その他多数

「生産管理をやれって言われたけど、何からやっていいのかわからない。」
「実は、見よう見まねで生産計画を立てている。」
「あるはずの仕掛り品がない。材料や外注品も入ってきていない。」
「お客様からの、納期督促が鳴りやまない。」

長年、“勘と経験と度胸”に頼ったやり方で生産管理をしてきた企業様のお声です。

生産管理も“技術”です。

しかしながら、多くの工場ではこのことを軽視し、正しい生産管理技術を勉強しないままもの作りをしています。これでは、どれだけ注文が舞い込んでも、“すんなり”と作れず、儲からない状態へ陥ります。

生産管理力が弱いと、材料が間に合わないとか、前工程から半製品が届かなかったりすることで、納期トラブルが頻発するようになります。また現場や倉庫が在庫であふれかえり、もの探しなど本来一銭にもならないムダな作業が増加。原価上昇へと発展していきます。

このセミナーは、入社3年生でも理解できるよう、極々基本的な生産管理技術をお教えいたします。
10個以上の実習と豊富な事例を交えながら、懇切丁寧にお教えいたします。

株式会社 西田経営技術士事務所
常務取締役

西田 雄平

講師紹介



【講師】収益改善コンサルタント：西田雄平(にしだ ゆうへい)

(株)西田経営技術士事務所 常務取締役。2009年法政大学経営学科を卒業後、ミネベアミツミ(株)に入社し購買管理の実務を経験。若干24歳で同社最大の生産拠点であるタイ工場に赴任。現地マネジメントに加え、アジア諸国の経営者にタフな商談や価格交渉を行う。

現在、収益改善コンサルタントとして全国の中小製造業へ『IPP:収益改善プログラム』導入活動中。顧問先の営業利益率をたった3年間で0.1%から3.4%に向上させるなど、利益創出に大きく貢献。官公庁や企業でのセミナー実績も豊富。

〈講師実績〉大手、官公庁……31回(日刊工業新聞社、中小企業大学校、東京商工会議所、ポリテクセンターなど)
自社開催……39回(1日でわかる原価管理の基礎の基礎、1日でわかる生産管理の基礎の基礎
コストダウンリーダー養成学校、収益改善強化塾など)
企業内研修……多数(IPP導入研修会、新入社員研修、もの作りリーダー養成塾など)